

視聴覚教育

NO. 376

発行日

23. 10. 28

発行

岡崎市AVL

編集

現職研修委員会

学習情報部

視聴覚用語

『SNS』

個人間のコミュニケーションを促進し、社会的なネットワークの構築を支援するインターネットを利用したサービス。「ソーシャル・ネットワーキング・サービス」または「ソーシャル・ネットワーキング・サイト」とも言う。

ICTで子供の心をつかむ

学習情報指導員 森 竜師

授業の「導入」は、あくまでも入口に過ぎない。しかし、この授業の出だしの五分間で全てが決まるといっても過言ではないほど「導入」は重要である。子供を授業へ誘い込み、本時の課題へ導く手法は様々である。特に、子供の興味関心を高め、本時の課題を明確に把握させていく道具として、ICTは大きな力を発揮する。先日、ICTを効果的に活用した模範的な授業を参観した。中学校の、社会科の授業である。「ブラジル」について学習を始めていく単元の一時間目。いかに子供たちの関心をブラジルという国に引き付けるかが、今後の単元全体の学習意欲をも左右するほど重要な本時。その、まさに勝負の「出だしの五分」の導入である。授業者は、五枚の静止画を用意して大型ディスプレイで見せた。しかし、それだけに終わらない。リオのカーニバルの画像が提示されると、その後で動画が再生された。その動きとリズムに、子供の心はぐっと引き寄せられる。サトウキビが刈り取られている画像が提示されると、教師の手にはサトウキビが現れた。それが子供

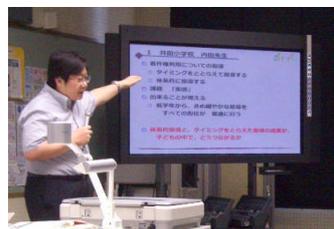
の手元へ届き、口へ入る。大型ディスプレイに提示された画像も学習課題も、プリントアウトされて板書へ取り込まれていく。さらに、子供の手元に配布されている地図を大型ディスプレイに提示し、共有の情報として利用する。そして、拡大コピーされた地図が黒板に貼付された。

この授業場面で注目すべきことは、単に「ICTを使う」だけに終わらず、その「効果」を最大限に引き出すために、あらゆる工夫がされていることである。提示した画像は、単にディスプレイの中だけに留まっていけない。動きのある映像や流れるリズムが子供の心と体を動かす画面から飛び出したサトウキビの感触を、子供は自分の皮膚で体感する。子供の手元にある情報は、大型ディスプレイに提示されて共有され、共通の視線と視点が与えられる。そして、画面は消えても、それは板書に残されていく。文科省の調査では、ICTの効果的な活用により、子供の学力が向上することが証明されている。教師の得手不得手は関係ない。ICTの活用は、目の前の子供のためである。先の授業者の、効果的な活用と授業センスの良さは、実践を積み重ねた故である。授業力アップのため、積極的にICTを活用していただきたい。

II 視聴覚教育あれこれ II

平成23年度岡崎市教育研究大会

9月2日(金)、葵中学校で平成23年度岡崎市教育研究大会の学習情報分科会が開催された。助言者に名古屋大学大学院准教授の柴田好章先生をお迎えし、「デジタル社会における豊かな学びとメディア利用のあり方を追究しよう」をテーマに、熱心な報告や討議が行われた。発表された8点のレポートの内容を分類すると次のようになる。



- ① 情報モラルについての研究(2点)
- ② コミュニケーション能力を高めるためのICT活用研究(2点)

- ③ ICT機器整備の効率化に関する研究(1点)
- ④ 教科指導におけるICT活用の研究(3点)

助言者の柴田先生からは、ICTを活用する場合の留意点や、提案のあったレポート一つ一つに丁寧なご指導、ご助言をいただいた。

なお、「父母と教師の教育を語る会(県教研)」には、次の2名が推薦された。

・井田小学校 内田 雅之 先生

「著作権利用のマナーを身につけさせる

学習活動の展開」

・常磐小学校 佐渡 英彰 先生

「効果的なICT活用をとおして、コミュニケーション能力を高める子供の育成」

ライブプレジャーだよ

●第9回ふるさと岡崎

メディアコンクールのお知らせ

今年度の「ふるさと岡崎メディアコンクール」の作品募集の受付が11月14日(月)から始まります。児童生徒が授業で取り組んだ作品や先生方が授業のために作った作品など、ぜひこの機会にご応募ください。全員に参加賞も用意しています。応募票や詳しい要項はライブプラーのHP (<http://www.oaz1.jp/>) にあります。多くの作品をお待ちしています。

【募集期間】

平成23年11月14日(月)～12月2日(金)

(郵送による応募も可)

【応募先】 岡崎市視聴覚ライブラリー

〒447-8601 岡崎市菅生町1丁目3番地1

【募集部門】

- ① 生涯学習部門
- ② 学校教育教材部門
- ③ 児童生徒作品部門

【テーマ】

自由(生涯学習の学

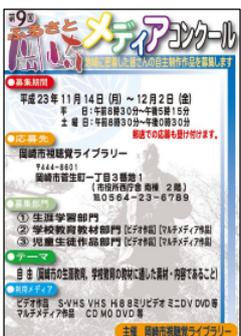
習教材、又は学校教材となるものとし、応募者の自作であること)

【利用メディア】

- ビデオ作品 S-VHS、VHS、Hi8、8ミリビデオ、ミニDV、DVD等
- マルチメディア作品 MO、CD、DVD等

※使用音楽の著作権に気をつけてください。

電話 23-6789



●レッツ・トライ

そのハードディスクやSDカードの中身、

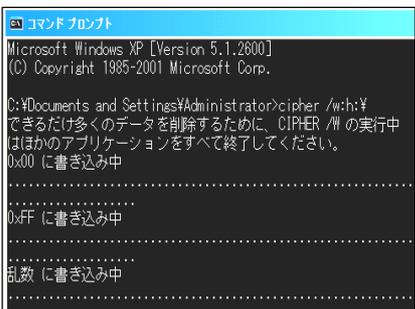
本当に消えましたか

いなくなっただけのパソコンのハードディスクやUSBメモリ、SDカードなどの記憶媒体。いくら消去やフォーマットをしてデータが見えなくなっているにしても、安易に捨てたり、人にあげたりしてはいけない。ましてや個人情報などの重要データが入っていた記憶媒体ならなおさらだ。消したはずのデータは、案外簡単に復活してしまうため、完全に消去する必要が出てくる。

そうした場合、WindowsXP Professional Edition に標準装備されている『Cipher』という付属ツールが有効だ。これは本来暗号化

のためのコマンドラインツールだが、米国防総省で定められている消去手順「ディスクを0x00クリア→0xFFクリア→ランダムクリアの3STEP」で確実にディスク内を完全消去することができる。

授業とは直接関係ないちよつとマニアックな内容だが、重要なことだ。なお、Home Edition にはCipherは付属していないので注意したい。



●実践報告

自分が見つけた指標生物を発表しよう

秦梨小学校 金丸 幸司

総合的な学習の時間の環境学習の中で、パソコンを使った調べ学習と発表を行った。

事前の活動で、子供たちは、指標生物から河川の水質(水の汚れ)について調査をした。その後、今まで気にすることのなかったそれらの生物についてインターネットで詳しく調べた。子供たちは、インターネットで自分が見つけた指標生物を解説しているページを検索し、写真や生態の説明などをワードを使って一ページにまとめた。同時に、画像の保存、挿入、文章の編集の仕方などを全体で指導した。その後、まとめたページを一人ずつ大画面に表示して、発表を行った。

発表では、スクリーンショットの静止画受信とマスキングの機能を使った。子供たちは、個人で作成したページを全員に見せながらポイントとなる部分に赤線や丸を書き込み、自分が見つけた指標生物について、意欲的に分かりやすい発表をすることができた。



(河合中学校 学習情報主任 河野 忠康)